

伊賀市 事務事業評価シート

経常的事務事業

事業名	コード	名称	会計	コード	名称
622		し尿収集経費	01		一般会計
基本施策	22	全市的に生活排水処理施設を整備する	04		衛生費
			02		清掃費
			03		し尿処理費
担当部課名		生活環境部 浄化センター	101		し尿収集経費
作成者氏名	藤森 法幸	連絡先	21-2109	細々目	し尿収集経費

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)
	旧上野市街地において収集を市に希望する家庭	行き届いたサービスで満足のゆく市民サービスが可能
本年度事業内容	し尿収集カレンダーによる各自治会単位の収集と、緊急を要する臨時収集を実施する。	
根拠法令・要綱等	伊賀市廃棄物の処理及び清掃に関する条例(平成16年11月1日条例第152号)	

投入資源

	H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員			
正規職員 (人)	10	8	8
人件費合計(A)	72,000	57,600	57,600
②支出内訳(千円)			
事業費(B)	37,193	35,643	31,553
報償費	30,672	26,582	26,582
その他	6,521	9,061	4,971
合計(A+B)	109,193	93,243	89,153
③財源内訳(千円)			
特定財源			
国県支出金			
受益者負担			
その他特財	37,193	35,643	31,553
一般財源	72,000	57,600	57,600
上記①～③に関する特記事項			

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
し尿収集件数	軒	24,392	24,000	23,500			
し尿収集量	ℓ	5,172,130	5,000,000	4,800,000			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
し尿収集件数	収集量の低減により、市のし尿収集を民間業者に委託又は収集許可により移管する事を検討しているが、市が収集を行なう民家の集中している町部を経営上、民間が受託するか、又は市民が民間の収集に移管することを承諾するかという課題をクリアしなければならない。	軒	24,392	24,000	23,500
し尿収集量		ℓ	5,172,130	5,000,000	4,800,000

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

旧上野市時代から数十年間市の直営で行なってきたことから、市民にはそれが当然のように浸透しており、また、市職員が直接作業に当たることにより、安心した市民サービスと評価を頂いている。近年、下水道の整備や浄化槽設置家庭が急増する中、収集件数・収集量は当然減少傾向にある。市の直営による収集量自体キャパは多くないが、これを理由に民間業者への移管することは、経費削減の意味から必要であると思われるが、実際全地域を民間業者が収支を考慮せず承諾するか、また、市民よりクレームが出ないかなど、課題は多くある。これを短いスパンで解決することは困難と思われる。

評価	有効性	2	市の直営収集地区を民間業者へ移管することを検討する。	総合評価
	達成度	4		
	効率性	3		
				<b>C</b>